

みやぎの環境を守り育てるために

宮城県では平成23年4月から導入した「みやぎ環境税」を活用し、みやぎの環境を守り育てるための事業を開始しています。

今回は、「みやぎグリーン戦略プラン」の概要と主な取り組みについてお知らせします。

緊急を要する環境問題対策

今、私たちの身の回りでは急激なライフスタイルの変化などに伴う「地球温暖化」や「自然環境の変化」が起きています。これらの問題を解決するためには世界的な取り組みはもちろん、私たち個人個人の行動を含めた地域での取り組みも重要になります。そこで、本県では宮城の豊かな環境を適切に保全し、次の世代へ引き継いでいくため、昨年3月にみやぎ環境税を用いた事業施策集「みやぎグリーン戦略プラン」を策定しました。本年度は東日本大震災からの復興に配慮した「自然エネルギー普及の加速化、省エネルギー対策の推進」、「生活基盤の再建と災害に強い県土づくり」の2つの視点を加えて事業を実施していきます。

「みやぎグリーン戦略プラン」

4つの観点

観点1

待ったなしの
二酸化炭素削減の取り組み
～地域からの
地球温暖化防止対策の推進～

観点2

豊かな自然環境を
次世代に引き継ぐ責任
～生物多様性は
人間の生存基盤～

観点3

地球環境保全への貢献を通じた
地域経済の活性化
～環境配慮と経済発展の両立は
県民の願い～

観点4

人と自然の交流、
心身の健康と安らぎ、癒しの提供
～今日的な社会問題解決のため、
豊かな自然環境を活かす～

県の取り組み

県では、4つの観点を踏まえ、シーン(場面)ごとに取り組みを行っています。

シーン1

地球にやさしい
ライフスタイルの
創造
○県民の率先行動を
支援します。

シーン2

環境と調和した
産業の振興
○企業率先行動を
支援します。
○クリーンエネルギー
関連産業の振興を
図ります。

シーン3

環境立県を支える
人材の育成
○人材育成のための
機会や場の充実を
図ります。

シーン4

森林機能や
生物多様性など
基盤の整備
○二酸化炭素吸収源としての
森林機能を強化します。
○豊かな自然環境の確保と
やすらぎの空間を
生活空間を創造します。

市町村の取り組み

市町村では、次の6つの取り組みの中から地域の実情に応じた取り組みを行っています。

- ① 公共施設、学校等における二酸化炭素削減対策
- ② 照明(街灯、商店街)のLED化
- ③ 自然環境保全活動(イベント、環境教育等)

- ④ 野生鳥獣対策
- ⑤ 環境緑化推進活動
- ⑥ 省エネ機器導入支援

※具体的な取り組み内容はお住まいの市町村環境関係課にお問い合わせください。

平成23年から平成27年までの
5年間の二酸化炭素削減量

約28万t-CO₂

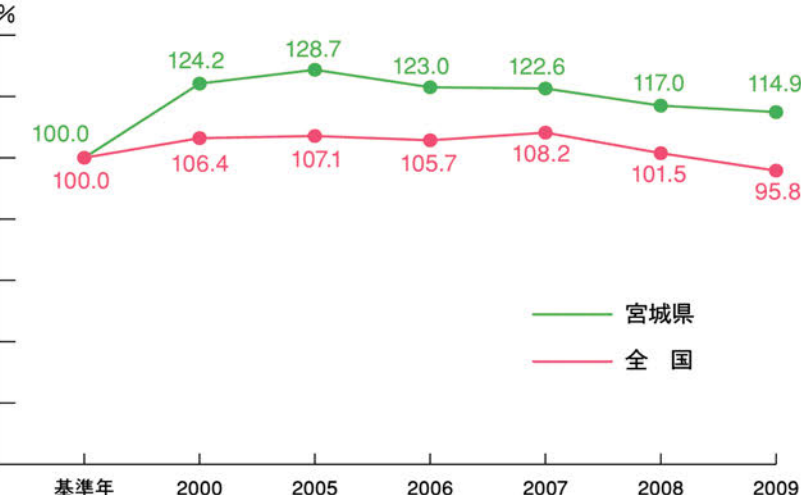
目指す姿

- 低炭素社会構築に向けた新しいライフスタイルを
県民挙げて創造していく宮城県
- 森林や生物多様性など
自然環境を積極的に守り育てる宮城県

企画：県広報課 ■問い合わせ先：県環境政策課 022(211)2661

みやぎの環境は今

2005年2月の京都議定書発効により、日本は2012年までに1990年比で6%の温室効果ガスの削減を義務付けられています。しかし2009年の温室効果ガス排出量比率は全国約96%に対し、宮城県は約11.5%となっており、早急な対応が求められています。



基準年(1990年)の温室効果ガス排出量を100とした場合の全国と宮城県の排出量の推移
(出典：環境省ホームページ、宮城県環境基本計画)

地球温暖化防止のために

再生可能エネルギーなどによる
二酸化炭素排出量の削減

地球温暖化をもたらす温室効果ガスの約9割を占める二酸化炭素を削減するため、省エネルギー行動の推進をはじめ、再生可能エネルギー(※1)や省エネルギー設備(※2)の導入に対する補助のほか、他の地域のモデルとなるクリーンエネルギーの活用や新商品の開発などに対して支援を行っています。



7月から住宅用太陽光発電システム導入に対する補助を開始します。

森林整備や木材の使用による 二酸化炭素の吸収・蓄積

● 過疎高齢化による里地里山の管理不足や社会経済活動の進展に伴う土地利用の変化などによって野生生物の生息環境が悪化・減少したり、外国産ペレットなどの野生生物によって在来種の生息地が圧迫されるなど、希少野生生物のみならず、普通に観察されている種も減少しています。半面、ニホンジカやイノシシなど特定の野生生物が増加している地域では、森林植生の衰退による生態系のかく乱や土砂の流出などが発生しています。

樹木は成長のため、大気中の二酸化炭素を吸収し、光合成によって幹などに炭素を蓄えます。そのため、木造住宅や木製品を長く使うことは街の中に第二の森林を作ることと同じと言われていて、そこで、二酸化炭素吸収量が大きいとされる若い林の間伐や造林放棄地への再造林、産業材を使用した住宅建築などにに対して補助を実施しています。



一定割合の県産材を使用した新築木造住宅に対して補助を行っています。

自然環境保全・再生のために

野生生物
生息の場の確保

これまで人の手が加わることによって維持されてきた里地里山などを保全するために、森林を適正に管理するほか、ビオトープ(※3)の創出などを行っています。

特定野生鳥獣の
適正管理

自然環境の変化により急増し、生息区域が拡大しているニホンジカやイノシシなどを、絶滅したオオカミなどの天敵に代わり人の手で捕獲し、適正な生息密度とするほか、自然環境での生息を促すために農地への進入を防ぐ防護柵の導入などを行っています。



里山を適正に管理することで野生生物の生息環境を保全します。

用語解説

- ※1 再生可能エネルギー
太陽光、太陽熱、風力、地熱、水力、バイオマスなど
- ※2 省エネルギー設備
LED照明、高効率ヒートポンプ熱源機など
- ※3 ビオトープ
「生命」を意味する「bio」と「場所」を意味する「topo」の合成語で、その土地に昔からいたさまざまな野生生物が生き生きとした生態系が機能する空間のこと。

- ◇平成24年度の主な事業などについては、本日(7月1日)発行の「みやぎ県政だより7月号(第500号)」や県環境政策課の「みやぎ環境税」のホームページ(<http://www.pref.miyagi.jp/kankyo-s/ondank>)、<http://www.pref.miyagi.jp/kankyouzei4.htm>をご覧ください。

県からのお知らせ

「障害者による書道・写真全国コンテスト」 宮城県大会の作品募集

- 内容/書道の部(硬筆/毛筆)、写真の部
- テーマ/自由
- 対象/県内(仙台市を除く)に居住し、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳のいずれかをお持ちの方
- 募集期限/8月24日(金)
- ※詳しくは、下記へお問い合わせください。
- ◎宮城県障害者社会参加推進センター
☎ 022(291)1587
FAX 022(291)1588

高校生地産地消 お弁当コンテスト作品募集!

- テーマ/地産地消!みやぎの食材を使ったお弁当
- 対象/県内の高等学校および特別支援学校高等部に在学する生徒3人または2人1組
- 応募方法/9月14日(金)(消印有効)まで、応募用紙(県ホームページ掲載)にレシピのほか必要事項を記入し、下記へ
- ◎県食産業振興課 ☎ 022(211)2814
〒980-8570 住所不要

栗原の森林・自然・きのこ 生産現場見学会

- 内容/①岩手・宮城内陸地震で崩壊した栗原市栗駒地内(冷沢)の復旧状況見学 ②「世界谷地」で植物観察 ③東日本大震災で被災した園床シイタケ施設の見学と収穫体験
- 定員/40人(先着順)
- 日時/7月21日(土)午前8時～午後6時
- 参加費/1000円(栗駒餅英での昼食代)
- 申し込み/7月6日(金)(消印有効)まで電話、はがきまたはファクシミリにより、住

所、氏名、年齢、電話番号、集合場所を下記へ
●集合時間・場所/午前8時・仙台駅西口貸切バス駐車場または、午前9時20分・栗原原合同庁舎
◎北部地方振興事務所栗原地域事務所林業振興部
☎ 0228(22)2381
FAX 0228(22)5795
〒987-2251 栗原市栗原藤木5-1

みやぎ外国人相談センターについて

外国人県民の皆さんからの相談に6言語(英語、中国語、韓国語、ポルトガル語、タガログ語、日本語)で対応する相談センターを宮城県国際化協会内に開設しています。外国人県民の方、相談窓口の担当者とお話ができる通話できるトリオフォンも設置していますので、ご利用ください。
●専用電話番号/022(275)9990
※各言語の対応曜日など詳しくは、下記へお問い合わせください。
◎宮城県国際化協会 ☎ 022(275)3796
Eメール mail@mia-miyagi.jp
◎県国際経済・交流課 ☎ 022(211)2972

中小企業向け事業引継ぎの 支援窓口について

後継者の不在をはじめとしたさまざまな理由により今後の事業継続に不安をお持ちの事業者の方を対象に、法律に基づく相談窓口が開設されました。弁護士・公認会計士などの専門スタッフが無料で相談に対応しています。他社の事業を足掛かりに新たな事業の展開を目指す事業者の相談も、併せて受け付けています。
詳しくは、下記へお問い合わせください。
◎宮城県事業引継ぎ支援センター
☎ 022(722)3884

住宅用太陽光発電システム 補助金について

- 対象/住宅用太陽光発電システムを設置した個人または法人(詳しくは、下記へお問い合わせください)
- 補助金額/太陽電池モジュールの公称最大出力1kW当たり2万円(上限額8万円)
- 申込期間/7月2日(月)～平成25年3月29日(金)(先着順受け付け)
- 申請状況により、期間内でも受け付けを終了する場合があります。
- ◎県環境政策課 ☎ 022(211)2661

県業務・採用試験説明会

- 内容/平成24年度宮城県職員採用試験の概要説明、個別相談など
- 対象/上記試験(主に短期大学卒業程度、高等学校卒業程度、警察官B)の受験を検討されている方(申し込み不要)
- 日時・場所/①7月14日(土)・大崎市中央公民館 ②7月21日(土)・気仙沼市立病院 ③7月28日(土)・石巻市保健相談センター(いずれも午後1時～4時)
- ◎県人事委員会事務局職員課
☎ 022(211)3761
<http://www.pref.miyagi.jp/zinziinkai/saiyou/>

オストメイト社会適応訓練

- 内容/術後のケア、装具の正しい使用方法、社会生活や福祉制度などの相談
- 対象/県内のオストメイト(人工肛門・膀胱造設者)とその家族など(予約不要)
- 日時・場所/①7月14日(土)・大崎市中央公民館 ②7月21日(土)・気仙沼市立病院 ③7月28日(土)・石巻市保健相談センター(いずれも午後1時～4時)
- ◎日本オストミー協会宮城県支部
☎ 0228(32)4234

「屋外広告物講習会」受講者募集

- 県内で屋外広告業を営む場合には、講習会の修了者など一定の資格者を業務主任者として設置する必要がある。今年度の受講者を募集します。
- 期日/7月24日(火)、25日(水)
- 場所/仙台市役所本庁舎8階ホール
- 受講手数料/4000円
- 申込期間/7月2日(月)～13日(金)
- ※詳しくは、下記ホームページをご覧ください。
◎県都市計画課 ☎ 022(211)3132
<http://www.pref.miyagi.jp/tosikei/>

看護学生・未就業看護師等病院就職 ガイダンス

- 看護士などの県内への就業促進を図るため、病院就職説明会を開催します(事前申込不要)
- 対象/県内外の看護系大学や看護師等養成所を卒業する学生、未就業看護師など
- 日時/7月7日(土)午前11時～午後3時
- 場所/仙台アエル5階多目的ホール
- ◎県医療政策課 ☎ 022(211)2615
<http://www.pref.miyagi.jp/iryuu/>

夏休み親子木工教室参加者募集

- 内容/木工クラフト、自然観察
- 対象/小学生とその保護者
- 定員/20組(応募者多数の場合抽選)
- 日時/7月29日(日)午前10時～午後3時
- 場所/県林業技術総合センター(大衡村)
- 参加費/無料(昼食は各自持参)
- 申し込み/7月17日(火)必着で、往復はがき住所、氏名、年齢、電話番号を記入し、下記へ
- ◎県林業技術総合センター
☎ 022(345)2816
〒981-3602 黒川郡大衡村大衡字はぬ木14

地区別公立高校合同説明会

- 地区ごとに公立高校が集まり、合同説明会を開催します。平成25年度からの入試制度についての説明や、高校入学後の奨学金についての相談も行います。
- 日時・場所/①大崎会場 7月7日(土)午前10時から ②大崎合同庁舎 ③登米会場 7月7日(土)午前10時から ④佐沼高校 ⑤栗原会場 7月8日(日)午前10時から ⑥栗原会場 7月8日(日)午前10時から ⑦石巻会場 7月8日(日)午前9時40分から ⑧石巻専修大学 ⑨仙台会場 7月14日(土)午前10時から ⑩仙台二華高校 ⑪本吉会場 7月21日(土)、28日(土)午前10時から ⑫気仙沼会場
- ◎県高校教育課 ☎ 022(211)3624

水俣病特措法に基づく給付申請の 受付期限は7月31日(火)です

- かつて、水俣湾や阿賀野川などの魚をたくさん食べ、手にしびれなどの症状がある方、または、ご家族、ご友人、お知り合いの方がいらっしゃいましたら、下記の相談窓口にご相談の上、お早めに申請してください。
- ◎熊本県環境生活部水俣病保健課 ☎ 096(333)2306
- ◎鹿児島県環境林務部環境林務課 ☎ 099(286)2584
- ◎新潟県福祉保健部生活衛生課 ☎ 025(280)5204、5207

親子で弘道お兄さんと遊ぼう!

- 内容/親子体操セミナー(講師：佐藤弘道氏)
- 対象/幼児(6歳頃まで)とその保護者
- 定員/親子200組(先着)
- 日時/8月9日(木)午後4時～5時
- 場所/塩釜ガス体育館
- 参加費/無料
- 申込方法/7月18日(水)まで、ファクシミリまたはEメールに、参加親子の住所、氏名、年齢、電話番号、交通手段を記入し、下記へ
- ◎県健康推進課 ☎ 022(211)2623
FAX 022(211)2697
Eメール kensui-k@pref.miyagi.jp
<http://www.pref.miyagi.jp/kensui/>

「家庭の日」絵画・ポスターなど募集

- 「家庭の日」(毎月第3日曜)推進の一環として作品(絵画・ポスター・川柳)を募集します。
- テーマ/「家庭の日」の思い出、家族との絆、家庭の楽しさや地域とのふれあいなど
- 対象/小・中学生、高校生(川柳は大人も可)
- 規格/画材は自由、大きさ四つ切り程度(版画も可)
- 応募方法/9月7日(金)(消印有効)まで、作品の裏面に学校名、学年、氏名、画題、自宅住所、電話番号を記載し、下記へ(持参可)
- ◎青少年のための宮城県民会議(県共同参画会推進課内)
☎ 022(211)2577

宮城大学平成24年度後期 科目等履修生募集

- 10月から開講する授業科目を履修できる科目等履修生を募集します。
- 募集期間/7月17日(火)～27日(金)
- 募集要項/①下記ホームページからダウンロード、または②240円分の切手を貼った角形2号の返信用封筒を同封し、下記へ請求
- ◎宮城大学大和キャンパス(看護・事業継続学部・大学院) ☎ 022(377)8213
〒981-3298 大和町学路1-1
◎宮城大学太白キャンパス(食産学部) ☎ 022(245)1121
〒982-0215 仙台市太白区旗立2-2-1
<http://www.myu.ac.jp/>

節電のお願い

- 震災の影響により、東北電力管内での夏季の電力不足が心配されています。県民や事業者の皆さんには、生活や経済活動に支障を生じない範囲で、継続性のある節電をお願いします。
- 特に、平日の午前9時から午後8時までの節電が重要です。
- 節電例/・不要な照明は消灯する
・冷蔵庫の設定を「強」→「中」へ
- ◎県環境政策課 ☎ 022(211)2663
<http://www.pref.miyagi.jp/kankyo-s/setsuden/>

目の見えにくい方とその家族の相談会

- 目の見えにくい方が抱える日常生活の諸問題について、社会参加への一助としていただくための助言や指導を行います。
- 内容/個別相談会(無料・秘密厳守)、視覚障害者用福祉用具の紹介
- 対象/県内に在住の目の見えにくい方とその家族や関係者(障害者手帳の有無は不問)
- 日時/7月29日(日)午前10時～午後3時
- 場所/多賀城市民活動サポートセンター
- ◎宮城県視覚障害者福祉協会
☎ 022(257)2022

「心の輪を広げる体験作文・ 障害者週間のポスター」募集

- 内容/①作文の部 ②ポスターの部
- テーマ/①障害のある方とない方との心のふれあいの体験をつづったもの ②障害のある方とない方との相互理解を促進するもの
- 対象/①小学生以上 ②小・中学生
- ※応募作品は、未発表のものに限りです。
- 応募方法/9月3日(月)必着で下記へ
- ◎県障害福祉課 ☎ 022(211)2539
〒980-8570 住所不要
【仙台市にお住まいの方】
◎仙台市障害者福祉協会
☎ 022(266)0294

農業災害防止運動について

- 6月4日～8月3日は農業災害防止運動期間です。農業事故を防止するため、次のことを心掛けましょう。
- ①農業容器のラベルに記載されている使用上の注意をよく読み、適正に使用する。
- ②農業の調整・散布の際は、防護具を身に付け、農業に直接さらされないようにする。
- ③農業を散布する時は、住宅地や河川などの周辺環境に配慮する。
- ④農業は安全な場所に鍵を掛け保管する。
- ◎県農産園芸環境課 ☎ 022(211)2845